

◎ 展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	(2)子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	①	豊かな自然環境の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績	
★21 京田辺市都市計画マスタープランの改訂及び実施(☆)	○周辺環境・自然環境に配慮した土地利用の推進	都市計画	H21～22	都市計画マスタープランの改訂完了 ・周辺環境・自然環境に配慮した土地利用を推進するために将来土地利用方針について都市計画マスタープランに記載	
	自然体験活動等の促進	○自然体験活動(新甘南備山生活環境保全林の活用など)	農政	H22～26	新甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。
		○野外活動のつどい(再掲2-(1)-(6))	社会体育		野外活動の集い 281人
		○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放(再掲2-(1)-(5))	社会体育		野外活動に親しむ日 255人
		○土曜わくわく体験教室(再掲2-(1)-(5))	社会体育		わくわく体験クラブのべ1625人
○夕涼みのつどい(再掲2-(1)-(5))	社会体育		夕涼みのつどい 83人		
	○学校田、学級園等での野外活動体験活動	学校教育		各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施	
★22 京田辺市環境基本計画に基づく総合的な環境施策の推進(☆)	○きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援(☆)	環境	H22～26	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、蜚を通じた河川保全、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)	
	○美化意識向上のための啓発(市民一斉清掃の推進・美化啓発看板の設置、空き地除草の指導等)	環境		・市民一斉清掃を2回実施(延べ57団体)、参加者 17,413人 ・不法投棄防止看板30枚を制作 ・市内168箇所の空き地の除草指導を実施	
	○市民環境セミナー	環境		1回開催(3月6日、参加者 55人)	
	○地球温暖化防止活動の促進	環境		KES環境マネジメントシステム・ステップ2の認証(34公施設)を得た	
水と緑のネットワークの推進	○広幅員道路や河川を利用した緑の緑化と自歩道のネットワーク化	施設整備	H22～26	該当なし	
★23 緑化の推進(☆)	○緑の基本計画策定(☆)	施設管理	H22～26	見直しの検討	
	○誕生記念樹配布	施設管理		H22.11.3(1回目)163名・H23.3.21(2回目)117名	
	○市民記念植樹祭	施設管理		H22.4.26 12組	
循環型社会の構築(☆)	○ごみの分別収集の徹底(ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	清掃衛生	H22～26	広報紙2回 チラシ3回	
	○家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助(家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生		補助件数17件	
	○再生資源集団回収事業補助(家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	清掃衛生		補助団体76団体 2,363t	
★24 循環型社会の構築(☆)	○教室・講座(ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生	H22～26	もの作り教室17回開催	
	○市民団体「京田辺エコパークかんナビ」の支援(☆) 京田辺エコパークかんナビを支援することにより、「3R」推進に取り組む。 ① リデュース(Reduce)ごみ減量 ② リユース(Reuse)不要品の再利用 ③ リサイクル(Recycle)ごみ再利用	清掃衛生		京田辺エコパークかんナビ支援	
京田辺市の文化を次世代に受け継ぐ事業の推進	○文化財の保護及び市民への情報提供等	社会教育	H22～26	市指定文化財に仏像2件を指定し、広報京たなべ、学びの情報誌、市ホームページを活用し情報提供をおこなった。	

◎ 展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	②	子どもの遊び場・交流の場の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
身近な遊び場の整備	○ストリートバスケット設置等	社会体育	H22～26	鶴沢公園(三山木)において老朽化による撤去及び再設置を行った
体育館・運動施設の開放	○スポーツに親しむ日	社会体育	H22～26	スポーツに親しむ日 11回27.5時間のべ795人
★25 公園の新設、整備等(☆)	○近隣公園の整備	施設整備	H22～26	防賀川公園(東側)の整備用地買収
	○街区公園の整備	施設整備		実績なし
	○公園里親制度(アダプト制度)の普及(☆)	施設管理		里親制度モデル事業 西神屋公園及び田辺東幼稚園緑地緑化事業(H22.5.26/H22.12.13) 花の一体道緑化推進事業(H22.7.15)
	○公園遊具の安全点検の推進	施設管理		平成22年度京田辺市都市公園維持管理業務上の日常(毎月:H22.4～H23.3)点検の実施
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-(3)、3-(2)-(4))	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率98.0パーセント ・仮換地指定率 94.2パーセント ・使用収益開始率 66.3パーセント

◎ 展開する事業群(3-2-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	③	安心・安全の生活環境の確保

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市都市計画マスタープラン改訂及び実施	○安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備	都市計画	H21～22	都市計画マスタープラン改訂完了 ・安全な道路空間創出のための歩道・緑道整備に関する方針について都市計画マスタープランに記載 都市計画マスタープラン改訂完了 ・交通事故防止のための交通安全施設の整備に関する方針について都市計画マスタープランに記載
	○交通事故防止のための交通安全施設の整備	都市計画		
★26 施設の安全対策(☆)	○耐震診断士派遣事業	開発指導	H22～26	35件派遣 耐震計画策定 保育所:必要な耐震補強工事は21年度で終了 小学校 大住小学校管理棟・管理特別棟、田辺小学校南校舎棟(西側)、薪小学校南校舎棟について耐震補強工事を実施した。田辺東小中学校舎棟について、改築工事を実施した。 中学校 田辺中学校校舎棟について、改築工事を実施した。
	○市営住宅の耐震補強工事	開発指導		
	○保育所、幼稚園、小・中学校等各施設の耐震補強工事(☆)	こども福祉 教育総務室		
登下校時の安全対策	○登下校時の安全対策 ・緊急用の笛の配布	学校教育	H22～26	小学校新1年生児童及び転入生を対象にホイッスルを配布(計751個)
地域の防犯パトロール支援	○京田辺市青少年問題連絡協議会防犯パトロール支援	社会教育	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月10日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-②、3-(2)-④)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。 ・家屋移転進捗率98.0パーセント ・仮換地指定率 94.2パーセント ・使用収益開始率 66.3パーセント
あんしん歩行エリア整備事業計画	○交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画の進捗確認	都市計画	H22～26	○あんしん歩行エリア(田辺地区)地区調整会議の実施(1回)
道路整備	○幹線道路の整備	施設整備	H22～26	該当なし 歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行った。 ・河原浜新田線L=217m ・東興戸線用地測量 ・里ノ内小山線用地買収
	○準幹線道路の整備	施設整備		
子ども緊急避難場所等の指定	○子ども緊急避難場所等の指定 (商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	安心まちづくり室	H22～26	親子子どもの安心・安全円卓会議において検討した。
地域での防犯対策の充実	○防犯灯の設置等	安心まちづくり室	H22～26	59基の防犯灯を設置した。 安心・安全行政連絡会議や警察協議会の場で検討した。
	○地域防犯体制の育成 (地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネットワーク化の構築)	安心まちづくり室		
交通安全対策の充実	○交通安全施設の設置及び管理	安心まちづくり室	H22～26	23ヶ所に道路反射鏡を設置した。 京都府田辺警察署と合同で18回啓発を実施した。
	○交通安全意識の啓発	安心まちづくり室		
放置自転車対策の充実	○自転車マナーの向上の啓発	安心まちづくり室	H22～26	京都府田辺警察署と合同で4回啓発を実施した。 子ども自転車大会を実施した。
防災対策の推進	○災害時の要援護者対策の推進 (市防災計画において、災害の影響を受けやすい乳幼児・妊産婦等への支援・救助体制を整備)	安心まちづくり室	H22～26	検討を実施した。
	○自主防災組織の育成	消防本部	H22～26	・ 消火訓練 9件 841人 ・ 防火講話 6件 380人 ・ 地震体験 3件 235人 ・ 避難訓練 3件 450人 ・ 各種訓練 86回 2,666人 ・ 消防学校入校 2回 7人
	○消防団員育成・強化事業	消防本部		
★1 安心・安全教育の推進(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆) (再掲1-(1)-①、1-(2)-②)	こども福祉	H22～26	1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加
有害環境対策の推進	○地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会	こども福祉	H22～26	・年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り ・年4回の綴喜地区環境浄化連絡協議会理事・幹事を開催、2月に研修会開催

◎ 展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	④	子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
京田辺市バリアフリー基本構想策定及び実施	○バリアフリー基本構想の策定	都市計画	H21～22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バリアフリー基本構想の策定(翌年度繰越)</li> <li>・策定協議会の開催(4回)</li> <li>・委員による現地視察の実施(21名)</li> <li>・市民参加によるタウンウォッチング(25名)</li> <li>・事業者協議</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul>
	○鉄道駅、道路、公園、駐車場等、公共施設のバリアフリー化 (既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	安心まちづくり室	H22～26	JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。
福祉のまちづくりの推進	○道路整備 (市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者等に配慮した道路整備事業を行った。</li> <li>・信楽街道踏切改良測量設計</li> <li>・池ノ端大住ヶ丘線歩道切下げN=13箇所</li> <li>・山手幹線自転車道整備L=250m</li> <li>・通学路カラー塗装A=2480㎡</li> </ul>
		施設管理		
まちづくり事業での配慮 (三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進) (再掲3-(2)-②、3-(2)-③)	三山木整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。</li> <li>・家屋移転対象戸数157戸のうち、154戸が完了した。</li> <li>・家屋移転進捗率98.0パーセント</li> <li>・仮換地指定率 94.2パーセント</li> <li>・使用収益開始率 66.3パーセント</li> </ul>